

1 活動名 みどりネット信州8月研究会参加

2 研修の目的

(1) 本市における課題 市議会活性化は本市の重要課題。

(2) 研修の必要性 一般質問の組み立て方、予算が適正に執行されているかをチェックする。本市「再生可能エネルギー地産地消推進計画」の推進のための視察。

(3) 研修項目 研修内容と同様

3 研修内容

(1) 日時 令和元年8月9日・10日

(2) 会場 農家民宿ひと粒舎（長野県大町市美麻）

(3) 出席者 1名 神津ゆかり

4 内容

ア 6月議会の振り返り

イ 決算審査のポイント

ウ 小水力発電視察

5 成果・所感等

一般質問の組み立て方、テーマ設定の方法を学ぶ。また、予算が適正に執行されているか、歳入歳出予算額との比較、歳入の調定額は見積もり予算に比べてどうだったのか。不用額が大きい場合は、その理由などを確認する。

市長交際費、議員職員飲食費の公費負担は妥当か、情報公開請求制度を活用し、公文書や資料を精査することが重要。「直営」「委託」「補助」などに注目し、直営の問題点、委託業者任せ、ばらまきになっていないかをチェック。

住民のためにどのような仕事をしたのか、従来からの継続補助金で再考が必要なものはないか、チェック。

小水力発電（大町市町川発電所）

大町市町川発電所は、平成17年「大町市地域新エネルギービジョン」策定、平成19年に調査、基本設計開始、同22年発電開始し、現在、約300世帯分の発電をしている小水力発電所です。ゴミ、砂が少なく維持管理が容易で、豊富で安定した水量を確保できる「町川用水路」から取水し、落差約16mを利用して最大約140kwの発電をおこなっています。発電した電気は、専用の高圧配電線で近郊のし尿処理施設まで送電し、自家消費し、余剰分は売電しています。総事業費は約1億7500万円。担当者の説明によると、当時の担当部署に熱心な職員がいて、自作の模型を作り、トラブル回避のための研究等を行っていたとのこと。

4 政務活動費

(1) 使途項目 研究研修費

(2) 支出額 3,848円（交通費）